

2024 秋のリフレッシュキャンプ 活動報告



期日：2024年9月28日（土）～29日（日）

場所：国立吉備青少年自然の家（加賀郡吉備中央町）

参加：キャンパー45名・リーダー12名

○キャンパー内訳：海星幼稚園1名、菟幼稚園1名、岡田小学校8名
川辺小学校15名、呉妹小学校1名、菟小学校1名
平島小学校4名、箭田小学校8名、



【助け合いのリフレッシュキャンプ】

キャンプディレクター：三ツ橋武志（ジェットリーダー）



今回で9回目となる西日本豪雨被災児童招待プログラム「秋のリフレッシュキャンプ」を9月28日（土）～29日（日）の二日間で実施しました。

今年は、年明け早々に発生した能登半島地震、そしてその復興途中で起こった先日の豪雨災害で被害に遭われた皆様のことを思うと、本当に胸が詰まる思いです。西日本豪雨を経験した方々は、災害の記憶が思い出されたのではないのでしょうか。そのような中、少しでも子どもたちがリーダーやお友だちと一緒に安心して遊び、思い出に残るようなキャンプにしようと決めました。

キャンプ当日は、それまでの蒸し暑い残暑から、秋を感じられる天候となり、秋晴れのもとで素敵なキャンプになりました。

今回のメンバーの中には、第1回リフレッシュキャンプに参加したメンバーの弟たちや妹たちが参加してくれていました。6年前に参加した子どもたちは中学生・高校生となり、それぞれの場所で活躍していると聞くと、とても嬉しい気持ちになります。

今回参加しているメンバーの中には、6年前にまだ生まれていない子どもたちもいます。しかし、西日本豪雨の話をする、色々な思いを教えてくださいました。大きな災害を経験することはとても辛いですが、経験したからこそ、強く生きていく力が身についているように思います。

その一つとして、今回のキャンプ中も随所に「助け合い」を感じました。集合時に「自分がされて嬉しいことができる2日間にしよう」と話をしましたが、誰かが困っている時、「大丈夫？」と手を差し伸べる姿を、たくさん見ることが出来ました。1人では出来ないことも、仲間が集まれば出来る、そんな助け合いの姿が素敵でした。普段でも【助け合い＝あたりまえ】になっているのかもしれません。

今後もこのようなリフレッシュキャンプを実施できたらと思いますし、将来、子どもたちが大きくなった時、YMCAのリーダーになってくれたり、災害が起こった際にボランティアとして活躍してくれたりすることを楽しみにしています。

【共に過ごす誰かのために】

プログラムディレクター：佐藤友哉（メッシリーダー）



秋のリフレッシュキャンプに参加してくださったみなさん、ありがとうございます。みなさんととても楽しく、幸せを感じられる2日間を過ごすことができました。夏の厳しい暑さも和らぎ、秋のはじまりを感じるキャンプとなりました。

今回のキャンプには、年長から小学6年生までの合計45名のこどもたちが参加してくれました。キャンプ中の様々な場面で、こどもたちは自然と共に過ごしました。特にグループの時間や川遊びでは、自然の中だからこそできる遊びを思いっきり楽しむことができました。自然は、我々人間の力では抗うことのできない猛威を振るうことがあります。しかし、それと同時に自然は、雄大で美しく、楽しさや面白さを見つけられる場所でもあります。自然の中で過ごすことで、こどもたちには自然の持つ様々な力に触れることができたのではないのでしょうか。

リフレッシュキャンプの中で、こどもたちやリーダーの楽しむ力や自分たちの「やりたいこと」を実現する姿を様々な場面で見ました。加えて、自分のことだけでなく、キャンプに来ている自分以外の誰かを想った行動をする姿にも驚かされました。重い荷物を運ぶ友達を手伝ったり、みんなが使った場所を率先して掃除してくれたり、お礼をきちんと伝えていたり、ともだちやリーダーの名前を呼んだりしている場面にたくさん出会いました。キャンプには、1人ではなく、友達やリーダーと一緒にするからこそ楽しいことがたくさんあります。したがって、自分さえ良ければではなく、共に過ごす誰かのことも考えることが非常に大切です。YMCAでは、キャンプにとどまらず、日常生活や他の場所でも自分以外の誰かを想うことができる、そんな人が育つ場を今後も創り続けていきたいと思えます。

今回のリフレッシュキャンプを行うために支援をしてくださった皆様、こどもたちを送り出してくださった皆様、キャンプに参加してくれたこどもたちとリーダー、全ての方々の力によって今回のキャンプを行うことができました。本当にありがとうございました。

【1日目スケジュール】

9/28 (土)

- 8:00 岡山集合
- 9:30 真備集合
- 9:45 吉備真備駅前出発
- 10:45 国立吉備青少年自然の家到着
- アイスブレイク (自己紹介など)
- 12:00 昼食
- チェックイン
- グループタイム (グループで遊ぶ時間)
- ・ 探検 ・ 秘密基地づくり ほか
- 17:15 ゆうべのつどい (他団体と一緒に)
- 17:30 夕陽会 (YMCA)
- 18:00 夕食
- 19:00 入浴
- 19:45 キャンプファイヤー
- 就寝準備
- 21:30 就寝



午前8時、岡山駅に平島小学校のこどもたち4名が集合し、バスで真備町へ。

吉備真備駅前では、真備町内のこどもたち41名が集まり、キャンプのこどもたち45名全員が揃い、バスで吉備中央町の国立吉備青少年自然の家を目指しました。到着後、「アイスブレイク」というこどもたちの緊張をほぐし、キャンプに慣れていけるような時間を過ごしました。歌を歌ったり、身体を動かすゲームをする中で、少しずつみんなの緊張がほぐれ、笑顔が増えていきました。

その後、みんなで昼食を食べ、各部屋にチェックインしてからは、「グループタイム」になりました。グループタイムは、学年や性別で分けたグループごとに、どこへ行き、何をして遊ぶのかを相談して、自分たちの「やりたいこと」を実現していく時間です。

【主なグループタイムの内容】

- ・ バッタやカマキリなどの生き物探し ・ 広い自然の家の敷地の探検 ・ 栗拾い
- ・ たくさんの木を使った秘密基地づくり ・ どんぐりなどを使ったブローチづくり

この他にもグループごとに様々な遊びを楽しんでいました。

夕食、入浴の後には待ちに待ったキャンプファイヤーの時間です。キャンプファイヤーの大きな炎を囲んで、みんなで歌を歌ったり、大声対決をしたり、思いっきり踊ったりして、夜の特別な時間をめいっぱい楽しむことができました。日が沈み、少し寂しさを感じていたこどもたちも楽しい気持ちでそのままベッドに向かうことができました。

【2日目スケジュール】

9/29（日）

- 6:30 起床
- 7:15 朝のつどい（他団体と一緒に）
- 7:30 朝のつどい（YMCA）
- 8:00 朝食
- 9:30 部屋の点検
- 10:00 川遊び
- 12:30 昼食
- 13:30 グループタイム
 - ・ 栗拾い ・ 魚つり ほか
- 14:30 振り返り
- 15:50 バス出発
- 16:50 真備解散
- 18:00 岡山解散



「リーダーおはよう！」と各部屋から元気な声が聞こえてきました。朝のつどいで、体操や頭と体を使ったゲームで朝からみんな元気いっぱい。朝食を食べて、使ったお部屋の掃除。布団を畳んだり、ほうきではいたりと役割を分担しながら綺麗にしていました。

午前中はお待ちかねの川遊びの時間です。約15分ほど歩いたところにある河川敷へ。「魚がいるかな？」「みんなで水合戦しようよ」とグループでお話しながら向かいました。

到着後、いよいよ川遊び開始です。ゆっくりと足を入れながら、おそろおそろ水につけると「冷たい」とあちこちで聞こえてきます。少しずつ水にも慣れ、グループごとに川遊びを楽しみます。生き物探しに夢中になったり、リーダーと水をかけあって遊んだり大盛り上がり。

後半からは、いくつかのグループみんなで、川の流れを止めようと、体を使ってせき止めて、みんなで協力している姿がありました。体全体濡れて川遊びを楽しみました。

昼食後は、最後のグループタイム。昨日の続きをしたり、栗集めや基地作り、木を使って遊んで楽しみました。

いよいよ最後の時間になりました。「すごく楽しかった」「あっという間だったからもう1泊したい」と2日間を振り返るとみんな最高の2日間の思い出が出来ました。

【クラウドファンディング】

今年のリフレッシュキャンプには、当初40名のこども達を無料招待しようと考えていました。そのために、これまで同様クラウドファンディングを8月3日に立ち上げ、全国の有志に協力していただくことにしました。全国のYMCA関係者、YMCAを支援しているボランティア組織「ワイズメンズクラブ」、YMCAが運営に携わっている倉敷市自然の家のSPC（特別目的会社）各社、そして多くの個人、団体からご支援をいただくことが出来ました。

このクラウドファンディングを始めるに当たって掲げていた第一目標は50万円でした。しかしこの目標は9月3日に達成することが出来、その時点で募集期間はあと15日間あったため、第二目標である70万円を目指すことにしました。この間、真備町で青山学院大学と倉敷児童合唱団の演奏会を行い、ここでも募金活動を実施するなど、様々な方法でご支援の協力をお願いした結果、9月18日の締め切りまでに110万円を超えるご支援をいただくことが出来ました。これにより、当初予定していた40名から45名に定員を増やすことが出来ました。

ご支援を頂いた皆様に、心から感謝いたします。ありがとうございました。



「西日本豪雨被災児童をYMCAキャンプに招待する、ため「こども希望基金」にご協力を。

YMCAせとうち



支援総額

1,111,111円

222%

目標金額 500,000円

ネクストゴール 700,000円

② サポーター

100人

📅

終了しました

2024年09月18日 23時59分 まで

募集終了



GIVING100 by yogibo

SOCIALGOOD

今回のクラウドファンディングは、株式会社Yogibo様のご支援により、通常であれば達成金額に対して4～10%かかる手数料が無料になりました。これにより、ご支援してくださった皆様からのご寄附が、無駄なく100%活用できることになりました。

【ご支援者様】

○個人

赤木万己子、阿部麻希、池長あゆみ、市川愛、伊藤文訓、井上輝彦、岩井義矢、牛田龍佑
鵜丹谷剛、江川友斗、江口和代、大澤篤人、太田あゆみ、太田泉、太田直宏、太田のゆり
太田ひかり、大塚雅人、大西旬那、岡崎利治、小川千加子、オルソン良子、片山公美
河田英正、菊池央人、絹田倫子、蔵知武、小橋拓実、小林まゆみ、齊藤靖、坂本智
佐藤 春咲、佐藤友哉、柴田愛、清水真一、白鳥雅人、白鳥美貴、妹尾芳訓、高垣和弘
高島岳大、高原 優一、高原 良子、竹佐古真希、谷川明義、土井ゆみ子、中島亜寿紗
中島なぎさ、中山雄資、難波健、東出ももか、東出あゆみ、福田順子、藤長和代
藤原美幸、普門文子、前田美知代、松田道子、三浦克文、水田功子、三ツ橋武志
皆本萌、森明子、森末典子、安井真紀、山本未生、吉村優、吉村航、義若美里
脇本理加、和田早苗（五十音順／敬称略）

○団体（企業等）

アイダ電機株式会社、青山学院校友会岡山県支部、あけぼの幼稚園、オーニック(株)
(株)岡住、岡山キリスト災害支援室、岡山 ワイズメンズクラブ、カーツ(株)
(株)かねいちや、医療法人社団IER きれいわ歯科、さいとう耳鼻科、(有)シーガル
(株)塩生センター、白数デンタルオフィス、しらゆり幼稚園、大成物流(株)
税理士法人TUG、(株)ナイカアイアキット、(株)ネオクルール、福祉型専攻科パルジャ
(有)フルフル、(株)三浦印刷所、ミサワホーム中国(株)、(株)宮崎建築設計事務所
医療法人モモデンタルクリニック、由加山 由加神社本宮（五十音順／敬称略）



【自然を思いっきり楽しんだ2日間】

プログラムチーフ：前田 羽叶（めえちゃんリーダー）



2024年秋リフレッシュキャンプは、2日間、思いっきり自然と共に楽しんでもほしいという思いとともにスタートしました。集合の時から慣れた様子のこどもたちや、初めてのキャンプにドキドキしている様子のこどもたちなど、一人ひとりがこれから始まるキャンプに対する楽しみな気持ちを抱いていました。バスの中でたくさんお話をして、すぐにグループのお友だちと仲良くなれました。

国立吉備青少年自然の家に到着し、待ちに待ったグループの時間。各グループごとに、オリジナルのブローチを作ったり、秘密基地を作ったり、探検をしたりしながら、自然の中での遊びを思いっきり楽しみました。夕食を食べ、みんなでお風呂に入ったあとは、キャンプファイヤーです。みんなで過ごすキャンプの夜、ゲームをしたり、歌を歌ったりして楽しみました。

2日目には、歩いて河川敷に移動し、川遊びをしました。各グループ、魚と一緒に探したり、水をせき止めてみたり、水の掛け合いをしたりして遊びました。その後、最後のグループでの時間を過ごしました。前日にしていた遊びの続きをしていたグループや、栗をたくさん拾って季節を感じながら楽しんでいるグループなど、それぞれのグループで自然のものを上手く使いながら全力で楽しむことができました。

最後に「キャンプ楽しかった？」と聞いてみると、みんな口をそろえて「楽しかった！！」という声が聞こえ、「また来たい」という声もたくさん聞こえました。みんながやってみたいことに挑戦し、楽しい思い出を作ることができたのだと思います。また、どこかで成長したみんなと笑顔で会えることを楽しみにしています。



【今回参加したリーダーたち】



1グループ

ぴーなリーダー



もっちリーダー



2グループ

おもちリーダー



3グループ

まりほいリーダー



4グループ

ぶたんリーダー



5グループ

もなかリーダー



6グループ

トミーリーダー



7グループ

しろごまリーダー



チーフ
リーダー

めえちゃんリーダー

【未来を創るこどもたちの育ちの場】

プログラムスタッフ：白鳥雅人（じょーじリーダー）



今年も西日本豪雨災害を経験したこどもたちのために、リフレッシュキャンプを実施できたことに感謝いたします。今回のキャンプには、年長児から小学6年生まで45名のこどもたちを招待することができました。このような形でキャンプが実施できたのは、私達の呼びかけに応じて全国からご支援くださった100名の支援者、支援団体があったからに他なりません。6年経った今も西日本豪雨のことを覚えて、こども達のためにご寄附をくださり、キャンプの成功を祈ってくださった皆様には感謝の念に堪えません。

今回、真備町の集合場所となった吉備真備駅を訪れた際、当時の水かさかどこまで来ていたかを示すラインを見上げてみました。地上から約5mのところに示された青い線を見て、改めてその恐ろしさを感じました。

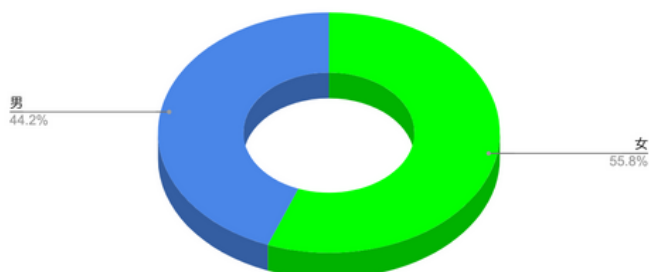
キャンプでは男女あわせて7つのグループができました。このグループそれぞれが、現地に到着して最初に取り組んだのは、「グループとしてどのようにキャンプを過ごすか」を決めることでした。「どんなグループだったら居心地がいいかな?」「言われて嫌なことってどんなこと?」そんなやり取りをリーダーと一緒にするうちに、自分たちのグループのあり方をこどもたち自身で決めました。自分で決める（自己決定）というのは、こどもたちにとって、とても大切な経験です。どのグループも、自分たちが理想とするグループを共通理解として持ちながら、キャンプが始まっていきました。

災害が起こったのは6年前ですから、今回参加したこどもたちの中には、あまり記憶がないこどもたちもいました。しかし人間の記憶は顕在意識の中だけでなく、無意識の中にもあるそうです。特に怖い記憶や辛い記憶は、私達の防衛機能として無意識の中に抑圧されると言われています。だからこそ私達はこれまでも、こどもたちが何も心配することなく、できるだけ我慢しないで、やりたいことを思いっきりできるキャンプを行ってきました。今回もグループのこどもたちがリーダーと一緒に相談して、どんなことをして遊ぶかを決め、その遊びをみんなで支えていくというキャンプを行いました。

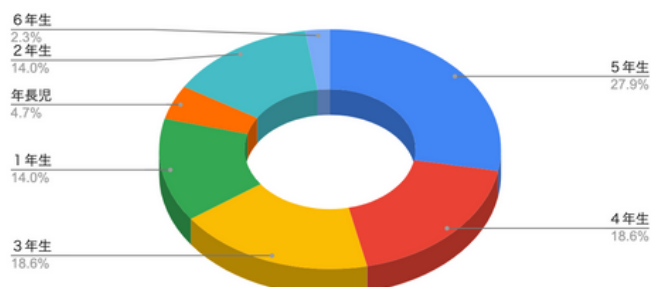
いつかこどもたちが大人になり、こども時代を振り返った時、つらく苦しい思い出ではなく、人に支えられ、優しさや愛情を感じられた経験として思い出せるような今であってほしいと願っています。そして将来、今度は自分が誰かを支えていくことを喜びと感じられるような人に成長していったほしいと願っています。

資料 ①【参加者・保護者アンケート】

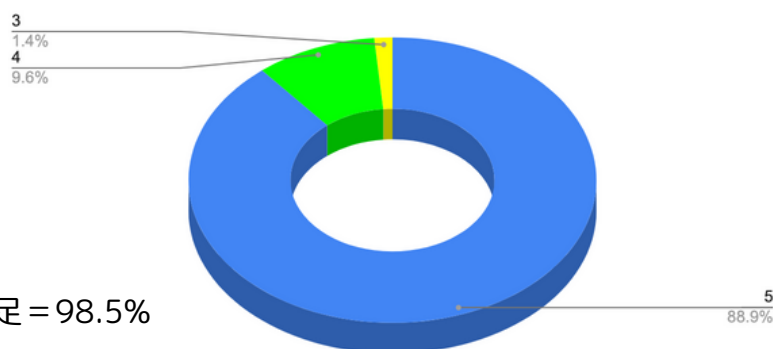
「性別」のカウント数



「学年」のカウント数



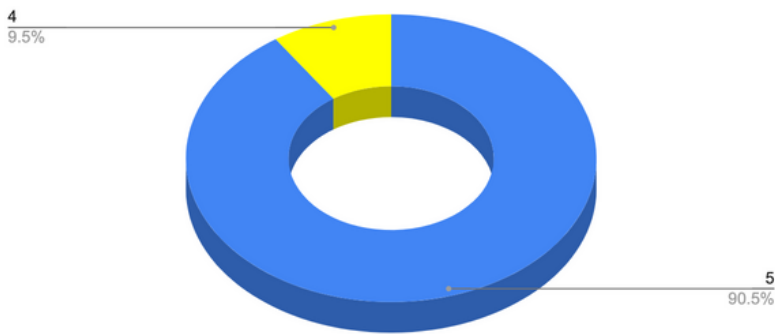
今回の活動のお子さんの満足度を教えてください。



満足 + やや満足 = 98.5%

- ・ 普段あまり行くことがない大自然の中で、思いっきり学年を超えた友達やリーダーと一緒に遊ぶことができるから。
- ・ 日頃はゲームばかりでなかなか自然に興味に向く事もないですが、今回は大変楽しめたよう。
- ・ 学校での友達とはまた違う友達ができたと嬉しそうに話してくれた。
- ・ **自然の中で遊びを見つけて、貴重な体験ができたと思います。**
- ・ **もう一泊したかった！！とのことで満足度マイナス1（4）にしましたがとっても楽しかった！また行きたい！！ということです。**
- ・ **帰ってきて開口一番にご飯が最高だった！美味しかった！**と言っていました。川遊びも最高でとても楽しかったのが伝わりました。
- ・ **キャンプに行くまえは不安で泣いていましたが、帰ってきたときにはとびきりの笑顔でいました。また行きたい！！ということも言っていました。**リーダーをはじめ、キャンプに携わってくださった方々に感謝です。また参加します。
- ・ 初めてのキャンプファイヤーが特に印象的だったようです。教えてもらった歌を、家でも愉快地歌っています。
- ・ 新しい友達との出会い、キャンプファイヤーなどのイベント、ノリが良く元気なリーダーと一緒に楽しかったようです。
- ・ 全部楽しかったと娘が言っています。**派手な企画がなかったのが好きなことを好きなだけできて逆によかったのだと思うのと、リーダーの配慮がよかったのかなと思います。**ありがとうございました。

保護者の満足度を教えてください。



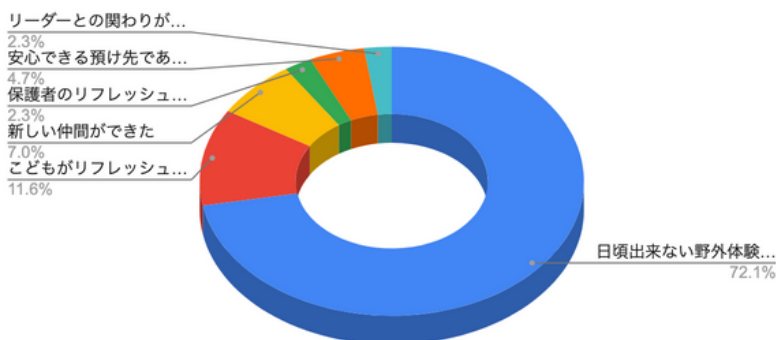
満足 + やや満足 = 100%

- ・ 同じ年代の子達と遊んだり、新しい体験ができて、親元を離れてお泊まりもできていい経験になりました。初めてだったのでグループ分け不安でしたが、同じ学年でまとめてくださっていたのが良かったです。
- ・ 子供と離れて親もゆっくり過ごせたので、とてもありがたく思います。
- ・ 自然とのふれあい、安心して子

供をまかせれ(常に同じリーダーがいる) 自分自身で考え行動し 楽しんで勉強できる。

- ・ **アレルギー持ちですがしっかり対応して頂けるので安心して送り出せます。**
- ・ キャンプなので晩御飯はどんなものかと思っていたのですが、バイキングと聞いて驚きました。よく食べる子なので、バイキングなのを聞いて安心しました、
- ・ **いつも私と一緒に寝ている息子が、お母さんがいなくとも楽しめたことは大きな成長だと思いました。**
- ・ 普段なかなか自然の中で自由に遊ぶということは経験させてあげられないので、とても貴重な時間を過ごさせてもらっていると思っています。
- ・ 親も子どもと離れてゆっくり過ごすことができました。
- ・ **学校の友達以外の人の参加が多い中、楽しめるか不安でしたが、帰るなりエピソードを話してくれて、とても有意義な時間を過ごすことが出来たと感じました。**
- ・ 子どもがイキイキとした目でキャンプの報告をしてくれ、またぜひ来年も行きたいと言っていました。その笑顔がすべてです。
- ・ **実は行き渋りをしていたのですが帰ってきたら疲れてはいたものの楽しかった！と喜んでいて、リーダーに感謝をしています。**

「プログラムに参加させて良かった、と思う事は何ですか？」
のカウント数



- ・ 帰って来ると、一回り成長したように感じました。やはり、自然の中で思い切り遊び、自分の事は自分ですというキャンプ生活が成長させてくれたのかなと思いました。
- ・ 1人で参加し、親のいない所で過ごすという普段は出来ない体験をさせて頂き、とても良い影響を受け成長したと思います。
- ・ 弓矢を手作りして戦いごっこ…絶

対家ではできない！めっちゃおもしろそう！川遊びもなかなかできる場所は分からないし、ダイナミックなことはさせてやれない…お友達と一緒に体験するということが何より面白いだろうなと思います。

- ・ 子どもだけで泊まりの体験を積むことが出来て嬉しいです。
- ・ 新しいお友達ができたと喜んでいる。今回も安心してキャンプに参加させることができた。とても楽しい思い出ができた様で参加させてもらってよかった。
- ・ 学校でもストレス抱える時期になってきましたが、学校のお友達がいたので遊べて喜んでいた。

資料 ②【参加者感想】（一部抜粋）

またキャンプに参加することができてとても楽しかったです。いつも参加している友達と会えたこと、新しい友達ができたことが嬉しかった。キャンプに行く前は、キャンプのことを考えながらワクワクして、いつも早めにパッキングの準備をします。今回のキャンプは、川遊びをすることができて楽しかった。**いつもはあまりご飯が食べられないけれど、キャンプでは何回もおかわりをして、たくさんご飯が食べられたのが良かったです。**ご飯はいつも美味しくて、家でもビュッフェスタイルだといいのになと思いました。**グループで全員一緒に木の棒を使って作ったペンダントが大切な宝物です。**栗が落ちていて、2.3個お土産にできました。栗に糸で紙をつけてペンダントにしたのも楽しかったです。**また友達やリーダーとあって、キャンプでたくさん遊べたらいいなあ。**

日頃できないようなキャンプファイヤー、川遊び、栗拾いなど年が近いお友達たくさんと経験できて、とても楽しかったと帰ってきました。**人見知りがあるほうで、行く前は仲良くできるか心配していましたが、すぐに打ち解けたと聞きました。**特に楽しかったのはキャンプファイヤーのおもちゃのチャチャチャゲームで、大声をみんなで出して競い合うのが楽しかったと聞きました。バスに乗る前にリーダーの方から何か心配なことはありませんか？と聞いてくれたので、少し怖がりでトイレを我慢する癖があります。と伝えてました。こういう機会はあまりないですが、**たくさんの人達とふれあい、親がいない所で過ごすというのはとても貴重な経験ができたと思います。**また何か参加できる企画があれば、参加したいと思いました。

同じ学校の仲良しの友達と行けることがとても楽しみでした。当日は、友達とグループも同じになり、さらにワクワクしました。**西日本豪雨や新型コロナウィルスなどの影響で、家でゲームをする時間が多くなっていましたが、キャンプの2日間は、思い切り自然の中で遊んだので、ゲームやタブレットがなくても楽しく過ごすことができました。**特に楽しかった事は、グループ遊びの時間に外で武器作りをしたことと、とっても綺麗な川で川遊びをして貝をたくさん拾ったり、班のみんなと人間ダムを作ったりして、自然の中でたくさん遊ぶことができたことです。天気もよくて、とても暑かったけど、楽しいことばかりで、遊んでいる時は暑さも紛れました。**リーダーは面白くて、優しくて、頼りになるお兄さんでした。今度は、小学校の山の学習で同じ場所に行くので、山の学習が今からとっても楽しみになりました。**

今回のキャンプは、ずっと楽しみにしていました。岡山駅で集合したのは同じ平島小学校の人ばかりで、4人でした。少なかったけど、バスで真備に行くと他にも沢山の人達がいて、待っていました。1日目のメインはキャンプファイヤーでした。皆で歌ったり踊ったりしてすごく楽しかったです。**夜は部屋の中で一番に僕が寝ました。すごく楽しくていっぱい動いて疲れていたからです。2日目は川遊びをしました。僕は8回もコケたので、あざが出来てしまいました。水のかけ合いもしたので、びしょ濡れになりましたが、とても楽しかったです。**帰りのバスでは、リーダー達と色んなゲームとかをしながら帰りました。「たん」と言うと、タン、タン、タンタンタン。と言って踊ったりするのが楽しくていっぱいしました。今度は学校の仲の良い友達も誘ってまた行きたいです。

今回初めて参加しました。お姉ちゃんと一緒に参加しました。しかし、お姉ちゃんと同じグループではありませんでした。不安で涙が出そうになりました。でも、優しいリーダーとお友達に囲まれて楽しい時間を過ごすことができました。特に楽しかったことが2つあります。1つ目は、お風呂です。家のお風呂よりもとっても広くてビックリしました。シャンプーがどれか分かるか不安だったけど、リーダーも一緒に入ってくれたので教えてもらいました。みんなで広いお風呂に入るなんて、初めてだったので楽しかったです。2つ目は、キャンプファイヤーごっこです。川遊びの時にしました。木の枝に葉っぱをさして、葉っぱを火に見立てました。みんなで歌を歌って、前日の夜にしたキャンプファイヤーのように盛り上がりました。お父さん、お母さんもいなくて、お姉ちゃんとも違うグループで、楽しさより不安の方が大きい2日間になるかと思いきや、様々な経験をお友達とすることで、次第に緊張ももとれていきました。また、機会があれば参加したいです。

資料 ③【保護者感想】（一部抜粋）

被災から6年が過ぎた今でも、平島&真備の子ども達を無料でキャンプに招待してくださり、本当にありがたいです。二階まで浸水したため、家の建て直しをしたこともあり、なかなか一泊二日のキャンプに連れていくことができない状況の中、YMCAさんから届くキャンプ参加者募集メールに感謝しております。

初めて年長の時、スキーキャンプに参加しました。その娘ももう5年生です。今回、ぶんたんリーダーから、娘が初めて参加したお友達に声をかけたと言いました。娘は一番最初に一人で参加をした時の不安を、リーダーに声をかけてもらったことで安堵したようです。今回は自分がその時のリーダーのようになれたらいいなと、不安に思っているお友達に話しかけたようです。キャンプに参加する度に娘の成長を感じます。

子どもがキャンプから帰って来て色々話しを聞かせてもらいましたが、こんなに外遊びが面白いと思ったのは初めてだ。と嬉しそうに言っていました。

普段はゲームやYouTubeが1番の楽しみな子なのですが、こうやって自然の中でリーダーの方達の指導の元、たくさんの楽しみ方を教えていただいて、本人も親も大満足しています。まだまだ手のかかる子ども達を安全面に配慮していただきながら、楽しく見守っていただき、本当にありがとうございました。機会があればまた参加させていただきたいと思います。

お兄ちゃん達は何回も参加させてもらっていましたが、本人は今回初めて参加させてもらいました。ずっと行ってみたい、と憧れていたのととても嬉しそうでした。準備を一緒にしたり、体調調整えたり、少しお母さんと離れるのが不安になってみたりしながらあと〇日でキャンプ！とカレンダーをみて数えていました。1泊2日とはいえ初めて親元を離れてのお泊まりだったので、少し心配でしたがいざ行ってみると全然寂しくなかったよーとあっさり言われました。子どもはたくましいですね。

親もゆっくり過ごすことができました。本当にありがたい限りです。

リーダーのみなさんには本当にお世話になりました、ありがとうございました。

小学1年生で、親と離れて宿泊するという経験が初めてで子供も私達も不安でした。前日には不安で行きたくないと不満を漏らすほど。けれど当日にはグループリーダーの方が優しく声をかけて下さり不安も吹き飛び、笑顔で出発することができました。日程も詳しく教えて頂いていたので、家で安心して過ごせました。迎えに行くと、**とびきりの笑顔で帰ってきて**、どんな事をしたか何が良かったか沢山の話をしてくれました。お風呂や寝る時も見守ってくれ、困った事や悲しかった事はひとつもない、とても楽しかったと教えてくれました。**次はいつ行けるの？！またすぐ行きたい！**と言っています。

災害は人生が変わる分岐点になると思う。今、日本の各地で災害がおこり、災害地の光景は絶望的なものであり、それでも時は流れまた気持ち改め頑張ってる人がたくさんいる。災害にあった人にしか分からない気持ちはたくさんあるけど、助けようと支援してくれる人もまたたくさんいて、人の優しさに触れる事が出来る。人との繋がり、助け合いは大事だと思う。

とても楽しい時間を過ごして来て本当にありがたいことです…

水害の時にうちの息子が3歳（年少）。水害の記憶があるギリギリの年齢だと思っています。楽しいことを知っているので募集があると応募しますが**いつまでお世話になって良いのかと申し訳ない気持ちもあります。**

そして、**能登をはじめ被災地となってしまった地域のこども達にも同じように、楽しい時間が過ごせることも祈っています。**

行くまで知らなかったのですが、お友達のお母さんの紹介でY M C Mさんの活動を知りました。リーダーたちと子どもたちだけでの参加で、**行かせるまでは少し不安でしたがお友達のお母さんからは「私の上の子が前に参加していて、相当楽しくて帰りたくないって泣くほどだったのよ」と聞いて良い経験ができるかもと思いました。**行く前にもメールで健康状態の確認や分かりやすい資料もありとても安心して行かせることができました。本人も行く前はみんなと仲良くできるかなあ？と**不安がっていましたが、まりほいリーダーがよく声をかけてくれて、知らない子ともすぐに仲良く打ち解けられた**と聞きました。日頃できないキャンプファイヤーで歌を歌ったり、川遊びと自然とも触れ合うことができて、それも楽しかったと聞きました！帰って来たときは遊び疲れてぐったりしていましたが、帰ってからまた行きたいと何回も言っていました。

キャンプに参加したのは3回目になりました。5年生になったので小学校の海の学習などの校外活動も体験してきて、親が不在のお泊りも増えてきたのですが、Y M C Aのキャンプも子どもは今回も楽しみにしていました。普段と違う環境になるのが楽しいようです。川遊びは家族での公園遊びではまずあそこまでびしょ濡れにはならない、させない、ブチ切れになるので子どもにはやりたい放題出来て面白かったと思います。自分の子どもの時には、あそこまで服をびしょ濡れにさせたことはなかったですね。それはそれで得難い体験なので少々羨ましいです。**Y M C Aさんのキャンプはサポートやリーダーさん達がしっかりしておられますので親としても子ども達を安心して送り出すことが出来ます。**長女は中学生なのでもう行けませんでしたが、**普段ケンカばかりしている兄弟が揃ってキャンプに行ってくれたので親としてもとてもリフレッシュできました。**もう5年生なのでもう1回参加できるかどうか分かりませんが、機会あれば子供もまた参加したいと言っていました。

招待キャンプは何度か参加させてもらっています。普段の生活の中ではできないような遊びや経験を、させて頂いて親としてはありがたい限りです。

一緒に準備をしたり、体調を整えたり当日までの毎日子供と共有できて、とても良い時間でした。親のほうものんびり過ごせて、本当にありがたいです。

今回は秋のリフレッシュキャンプに参加させていただき、ありがとうございました。

学校行事ではないイベントでしたので、本人が楽しめるかどうか少々不安な気持ちで見送りましたが、帰宅時には楽しそうな様子でしたのでありがたい経験をさせていただいたと思いました。

特にリーダーとの触れ合いでは優しく接していただいたり、子どもたちを楽しませてくれるために、工夫をしてくれたことを子どもかが話してくれました。

私は帰りのお迎えのときしかリーダーさんとお話する機会がありませんでしたが、笑顔が素敵で、キャンプのふりかえりも丁寧に教えてくださり、みなさん大学生ということを知ったときには、驚いたとともに、こんなにもしっかりされた素晴らしい学生さんと共に過ごせた子どもはラッキーだったなと思いました。

この度はこのようなイベントに参加させていただきありがとうございました。

また機会があればよろしくお願いいたします。

生活はもとに戻りましたが、大雨警報がでる時、たくさん雨が降っている時は思い出す事があります。

子ども達も口には出ませんが、少なからず不安はあると思います。

また他の地域が被災しているのも心が痛みます。特に能登地域の今回の被災は家族でも話にあがりました。今後、私達にも何かできたらいいなと思います。

YMCAの皆様には災害以来、何度かお世話になりました。災害にあって唯一よかったなと思う事が、皆さまのような団体様、個人様、裏で支援して下さる皆様の存在を知れた事です。この事は絶対風化させてはいけない、子供達によく伝えなければならない事だと思っています。

リーダー達のキラキラした笑顔は子供達に安心とワクワクを与えたと思いますが、大人の私は私達の為にと感謝で胸が打たれます。ありがとうございます。

